



潤 NEWS 新聞

経済特集号
渋谷区議会議員
中村たけし 区政報告



新型コロナウイルス感染症の状況下で、渋谷が目指すべきこととは？ ～「官民連携」と「DX」～

令和四年度にあたって

新型コロナウイルス感染症との戦いも3年目に入りました。ワクチン接種が進んでいる一方で変異株の衰えも見えませんが、落ち込んだ経済は取り戻さなければなりません。渋谷区の令和四年度予算は1062億6700万円と前年度比6・9%の増となる見通しです。安全安心を守りながら福祉・教育の水準を維持向上させていくためには、財源が必要です。現下のコロナ禍でも経済を回すことが必要です。

政治への取り組み

活動テーマは「潤して、強くする」です。私が政治家として成し遂げたいことは経済活性化による財源を潤す仕組みづくりです。私は、「潤す」ためのカギは、いかに本業を通して社会課題解決と企業成長を両立させるかだと考えます。そして、限られた財源の中でサービスレベルの高い公共サービスの提供を実現するために、今こそ公民の連携が必要だと考えます。「強くする」とは、行政の財源増により、福祉・教育をはじめとする行政サービスを充実させることです。もちろん、制度的な課題がありますが、それを乗り越えたいと考えています。

「DX」から「SX」。そして「GX」へ

コロナ禍において、デジタル・トランスフォーメーション(DX)としてあらゆる産業でデジタル化が進みました。昨年は、変革した仕組みを持続可能な変革(サステイナブル・トランスフォーメーション:SX)へと進めていく動きがありました。さらにこの先、求められることは、環境に配慮した変革「グリーン・トランスフォーメーション:GX」です。

渋谷経済フォーラム 2021を開催しました。

2021年11月、昨年に続き「渋谷経済フォーラム」を開催させていただきました。テーマは「DXと官民共創 渋谷の可能性2021」。会場では万全の感染症対策を講じ、欠席の方にはオンラインで視聴いただきました。

基調講演1 「日本経済復活のシナリオ」 慶応大院教授 岸 博幸様

デジタル化とイノベーションによる生産性向上が肝要。世の中になく新しいものを作ることは発明であって、イノベーションとはニューコンビネーションである。特にデジタル化は産業構造を変え、地域経済も変化をしないとイケない。そのキーは技術力を持つ民間企業と自治体が共に「やりきる」とあると示唆いただきました。



基調講演2 「スーパーシティ構想と渋谷の可能性」 前内閣府特命担当大臣 片山さつき様 参議院議員

「規制・制度改革」と、「まとまっていけないデータの連携」を同時に実現するスーパーシティを、常に街が変化し、あらゆるモノが集積する渋谷でやるからこその意味がある。そしてそのためにはグローバルレベルのデジタル人材の育成システムが必要であるとお話いただきました。



パネルディスカッション

岸様、片山様、東急不動産取締役 榎戸明子様と私の4名で議論しました。政策を作る、経済を回す、まちづくりのプロの3つの視点から次の3点について議論しました。
① コロナ禍で企業が考えるべきこと
② スーパーシティを見据え企業が考えること
③ 渋谷への期待
スーパーシティ化による「規制緩和」がキーであると昨年同様に結論づけました。



クロージング

最後は、私から昨年の3つの提案の進捗報告と、これから1年の3つの提案についてお話させていただきました。



- 昨年の提案の進捗報告
 - (短期)・・・高齢者デジタルデバイドの解消 進捗・・・実証事業化!
 - (中期)・・・行政課題の開示と官民連携による解決 進捗・・・令和4年度から順次実施!
 - (長期)・・・規制緩和(公園空地の有効活用、等) 進捗・・・まだまだ
- 新規提案
 - (短期)・・・都市DX環境の個別実現
 - 行政データのオープン化
 - 公共施設の稼働状況可視化
 - (中期)・・・情報公開のフェーズ2
 - 政策評価、事業評価を渋谷区で実装
 - アウトカム指標による評価
 - 低稼働施設の効果的利用
 - (長期)・・・「規制緩和」
 - 渋谷で特区(スーパーシティ)を
 - 渋谷での規制緩和をさらに実現
 - 実証事業の実施

中村たけしは地域課題に取り組みます

渋谷図書館

地域の図書館機能は維持されます!!

老朽化により現在使用を休止していますが、第一回区議会定例会での自民党からの質問に、区長から令和8年度を目途に建て替えが終了予定の広尾中学校に図書館を複合化して地域の図書館機能を維持するとの方針が示されました。竣工までは、東4丁目の白根記念渋谷区郷土博物館1階に本の貸出・返却サービススポットを設置する予定です。

ふれあい植物センターリニューアルについて

第2回定例会で中村たけしが提言しました



この施設は清掃工場の建設に伴う地域への還元施設であることから、全区民の施設でありながらも地域住民のための施設であり、近隣住民の雇用や施設使用への優先枠があつてしかるべきと提言しました。

みどりの情報発信・普及啓発拠点として地域のコミュニティ形成に役立つ施設となるよう地元の議員として力を尽くします。

野菜等の栽培 参加型植物園

農と食の地域拠点 令和5年度夏 オープン予定

地産地消 ワークショップ 農や食に関する学習

ポタニック ショップ カフェ レストラン

猿楽橋の架け替え工事が始まります

並木橋交差点から代官山へ抜ける道路にかかる猿楽橋は、築80年を超え老朽化から架け替え工事が始まります。まずは土台の補強工事が来月以降始まります。渋谷駅側の歩道が使用できなくなりますのでご注意ください。

氷川保育園の園庭を整備します

令和4年度に氷川保育園の園庭整備を行います。プール外周への作設置など、年度末に工事を予定しています。



広尾小学校の外壁を補修します

広尾小学校の外壁などの改修工事を行います。登録有形文化財である「見櫓」としての塔屋に配慮した整備を行います。



令和4年度
一般会計予算

中村たけしの提言が盛り込まれた予算が成立しました

新型コロナウイルス感染症対策

ワクチン追加接種(三回目)や5歳から11歳までの小児接種のため集団接種会場の設置と個別医療機関の確保をしています。

中学校部活動

一般社団法人渋谷ユナイテッドと連携し生徒のニーズを踏まえ10種目の運動部・文化部の設置と、水泳・陸上の2種目の地域スポーツ教室を行います。

区民福祉の重層的支援体制

8050問題や引きこもり、ヤングケアラーなどの社会課題に対応するため、各地域の拠点にコーディネーターを配置し、伴走しながら求められる支援が切れ目なく届くようにします。

オンライン学習環境の整備

感染症の影響が続いても全ての区立学校の全学級で同時双方向型のオンライン学習ができるようネットワーク環境を構築します。

デジタル地域通貨

区内店舗で使用できる渋谷区独自のデジタル地域通貨を導入し、区内の産業振興を図るとともに、区の事業や地域コミュニティでの活用についても推進します。ふるさと納税の返礼品としての活用も提案しました。

廃プラスチック分別回収

ごみ減量や温室効果ガスの排出削減を目的として、7月よりプラスチックを資源として分別回収します。

児童相談センター

渋谷区子育てネウボラ内にサテライトオフィスを設置し、児童虐待の予防や虐待に迅速に対応するための体制を整えます。

高齢者デジタルデバインド解消事業

スマートフォンの基本操作やSNSなど各種講座、無料相談窓口の拡充などによりデジタル機器の利用を促進し、高齢者の生活の質の向上を目指します。

渋谷区議会議員 中村たけし Takeshi Nakamura

外資系企業で15年間にわたり、街の再開発、不動産価値の向上に従事。IT企業において、災害時でのビジネスを継続するシステムの構築に従事。青年会議所に10年、理事長などを歴任し、国連において「グローバルパートナーシップサミット」の議長も担いました。

中村たけしの社会人経験

- 2001年 日本ビューレット・パッカード (IT)・・・災害復旧システムの開発
- 2004年 モルガン・スタンレー・キャピタル (金融・不動産)・・・不動産投資・開発・企業再生
- 2014年 インベスコ・グローバル・リアルエステート (資産運用)・・・不動産投資信託 (J-REIT) 上場
- 2017年 WeWork Japan (コワーキングスペース運営)・・・日本法人の立ち上げから成長まで

中村たけしの最新情報は
公式サイトをご覧ください。

公式サイトをリニューアルしました

<http://www.takeshinakamura.jp>



中村たけしプロフィール

昭和51年4月28日 仙台市生まれ
静岡県立磐田南高校卒
明治大学政治経済学部卒
米国オレゴン大学政治学部卒
早稲田大学公共経営大学院修了



中村たけしからの情報提供のため
SNSアカウントのご登録をお願いします。

